

質 問 回 答

2015 年 12 月 14 日

「(案件名) カンボジア国産業人材育成基盤形成に資する教育セクター情報収集・確認調査」(公示日 : 2015 年 12 月 2 日 / 公示番号 : 151014) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	4. 実施方針および留意事項(2 ページ) (1) 調査対象セクター 教育改革に係る教育省方針確認 < 想定ワークショップ概要 > JICA 支援の方向性(案)提案 < 想定ワークショップ概要 >	1. カンボジア教育省関係者約 20 人を呼ぶ想定になっていますが、この場合、参加者に日当・謝金等を支払うことが必要になるでしょうか。 2. また、支払いが必要な場合、貴機構カンボジア事務所が規定している単価があるでしょうか。あるならば、教えて頂けないでしょうか。 3. 想定される 20 人の役職がおわかりでしたら教えていただけますでしょうか。	1. 及び 2. ワークショップの出席者への日当・謝金等の支払いは想定していません。よって、ワークショップの出席者への日当・謝金等の経費の見積りは不要です。 3. ワークショップの参加者は、現段階では未定です(よって、参加者の役職についても未定です。)
2	4. 実施方針および留意事項(2 ページ) (2) 調査工程 教育改革に係る教育省方針確認 < 想定ワークショップ概要 > JICA 支援の方向性(案)提案 < 想定ワークショップ概	1. 1 回目のワークショップの目的が「教育改革」に係る合意形成支援、とありますが、「教育改革」とは何を意味するのでしょうか。「教育戦略計画(2014-2018)の実施」、ということかと理解したのですが、それですと、敢えて合意形成を図る必要はないかと思ひ、説明いただけますと幸いです。 2. この二つのワークショップのそれぞれの期間が 5 日間と書かれていますが、これは必ず 5 日間でなければならないのでしょうか。忙しいカンボジア教育省職員やドナーを 5 日間拘束するのはとても難しいと推測します。	1. 「教育改革」とは、ご理解の通り、「教育戦略計画(2014-2018)」を実施することを意味しています。この教育戦略計画(2014-2018)は定められたものの、その具体的な実施の内容や方法等については明確になっていないので、教育省内のコンセンサス及び合意形成を得るためにこのワークショップを開催することとしています。 2. ワークショップの開催日数については現段階では 5 日間を目安としていますが、現場の状況にかんがみ、適切な日数を設定の上プロポー

通番号	当該頁項目	質問	回答
	要>		ザルで提案してください。
3	5. 業務の内容(4ページ) (2)現地調査 2)プロポーザルにて提案した現地調査実施体制に基づき、関係者とキックオフミーティングを開催し、調査内容及び調査方針を確認する。	キックオフミーティングは4.実施方針及び留意事項(2)調査工程(2ページ)に記載されている「ワークショップ」とは別に実施するという理解でよろしいでしょうか。その際は、実施にかかる経費をワークショップ同様に本見積りに計上してよろしいでしょうか。	キックオフミーティングは、ワークショップとは別に実施するものですが、開催の形式はワークショップに準じたものとして実施することを想定しています。 この、キックオフミーティングに係る経費は本見積りで計上してください。
4	5. 業務の内容(4ページ) (2)現地調査 5) 基礎教育セクターに関する最新の基本情報を収集する。 基礎教育の課題と要因 (イ)質	ここの2番目の質問項目に「学習内容と社会、経済、家庭との関連性学習達成度」の意図するところはわかる気がしますが、念のためもう少し説明して頂けないでしょうか。	・カンボジアにおける学習内容がカンボジアの社会や経済、家庭環境の実情と合致しているかどうか、つまり、学習カリキュラムの内容や進度が単に他国から既存のものの機械的な移行ではなく、上記のカンボジアの状況に適合したものであるかどうかを検証することを意味しています。 よって、ご指摘の記載は以下のとおり訂正します。 「学習内容及び学習達成度と、カンボジアの社会、経済及び家庭環境との関連性」

以上